学校番号	T3036

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書Ⅰ（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

以下の３つの学習に取り組みます。
　1　書写力の基礎から一般実用的書まで。
　2　大筆、小筆、ペン字の技法。
　3　鑑賞
なお、３の鑑賞ついては作品を全員とともに鑑賞し、参考にして自分の作品へ取り入れます。

2　学習の到達目標

（１）表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
（２）意図に基づいた表現を工夫する力や、書の美を味わい鑑賞する能力を養う。
（３）書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しむ態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。また、日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解している。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。書の価値を考え、よさや美しさを創造的に味わっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字の書	・自分の名前を書く ・基本点画、永字八法 ・筆の使い方の学習 起筆、送筆、収筆の ３つの要素を習熟 ・古典臨書 九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑 ・写経 ・楷書の基本	a: 基礎的な能力と、効果的な表現の技能を身に付け表している。 b: 楷書の美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c: 書の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	提出作品 作品制作プリント	提出作品	提出作品 制作の過程の観察
後期	かなの書	・仮名の筆使い 仮名の単体、連綿を指導、散らし書き。 ・変体仮名 ・行書 ・古典臨書 ・	a: 基礎的な能力と、効果的な表現の技能を身に付け表している。 b: 行書の美しさを感じ取り,感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c: 書の伝統と文化に関心をもち，主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	提出作品 作品制作プリント	提出作品	提出作品 制作の過程の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度